

## 別紙様式 1

### 平成28年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立神山森林公園イルローザの森	施設所在地	名西郡神山町阿野字大地459-1
指定管理者名	徳島中央森林組合	指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日
施設所管課	林業戦略課	【連絡先】	088-621-2463

#### 1 施設の概要

設置年月日	平成元年7月29日（平成11年3月25日 東龍王地区を追加）
設置目的	県民に保健休養の場を提供するとともに、森林及び林業に対する県民の理解を深める
施設内容	公園敷地281.13ha 森林学習館，レストハウス，炊飯所など計38施設
利用料金等	無料
開館日・休館日等	12月28日から1月4日まで

#### 2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島県立神山森林公園の施設の運営業務（受付案内業務，イベントの実施，自主事業の実施，利用拡大のための啓発活動）</li> <li>・施設の維持管理業務（清掃業務，修繕業務，設備運転管理等業務，展示物及び遊具施設等常駐メンテナンス業務，警備業務，芝生管理，樹木管理，園地・林地管理，遊歩道，管理道及び林道の管理）</li> </ul>
------------	--

#### 3 施設の管理体制

管理体制	正職員 3 名 臨時職員 6 名 計 9 名
	<pre> graph TD     A[総括管理責任者: 専務理事 (兼任)] --- B[事務管理責任者 (兼任)]     B --- C[公園所長]     C --- D[現場責任者]     C --- E[事務主任]     C --- F[常勤作業員6名 [園地管理, 清掃業務] (臨時職員)]     subgraph " (正職員・専任) "         C         D         E     end         </pre>

#### 4 施設の利用状況

利用者数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	28年度		63,136	16,847	4,965	6,776	4,794	5,036	8,415	14,657	7,675	6,420	7,491	14,539
前年度		52,446	18,532	5,495	6,987	7,952	8,208	12,427	17,173	6,712	5,590	6,499	12,261	160,282
前々年度		68,646	18,015	7,538	7,650	4,704	9,876	10,166	18,354	3,083	3,792	4,179	5,115	161,118

## 5 収支の状況

(単位：千円)

項目		平成28年度	平成27年度（前年度）	平成26年度（前々年度）
収入	指定管理料	71,280	71,280	71,280
	事業収入	989	928	1,237
	その他			
	計	72,269	72,208	72,517
支出	人件費	11,971	11,814	11,456
	管理運営費	52,218	52,621	51,433
	事業費	4,970	4,756	6,617
	その他	2,876	2,621	2,644
	計	72,035	71,812	72,150
収支		234	396	367

## 6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	<p>①園内施設修繕の直営化（可能な限り園内施設の修繕は職員で実施）</p> <p>②省エネルギー・省資源化による光熱費削減への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑のカーテンを継続して実施。事務室における夏場のエアコンの使用実績はない。</li> <li>・園内の照明をLED電球に交換することによる省エネルギーへの取組みを実施。</li> </ul> <p>③コピー・印刷用紙の節約による事務費の削減</p>
サービス向上の取組	<p>①年間をとおした多彩な事業の開催（土・日・祝日の開催）</p> <p>②年間をとおして行われる各種教室の参加者に、各教室等毎にポイントを付与し、参加者がそのポイントを貯めることにより記念品を贈呈する「イベントポイント制度」を導入し、利用促進とリピーターの確保を図っている。</p> <p>③来園者の利便性向上のため身障者用駐車場、パーキングパーミットの拡張（1台→4台）(H25)</p> <p>④トイレに手すりや便座除菌クリーナーを設置(H26)</p> <p>⑤学習館内の木育広場に、安全確保のためのコルクマットを設置(H27)</p> <p>⑥利用者数の多い中央駐車場男子トイレの修繕・改修(H27)</p> <p>⑦人気イベント開催回数の増加</p> <p>⑧園内利用者のための、歩行補助ロボット（ロボットアシストウォーカーRT.1）の試験的設置（3台）(H28)</p> <p>⑨マンマローザ広場遊具の修繕・改修・撤去（H28）</p> <p>⑩学習館内の木育広場に、木製品遊具の増設（H28）</p>

## 7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	<ul style="list-style-type: none"><li>●次の3つの自主事業を開催</li><li>○約3,000本の桜が咲き誇る時期にはさくら祭りを開催。(4月2日～4月10日)</li><li>○国民の休日「みどりの日」を記念して新緑の美しい季節にみどりの感謝祭を開催。(5月3日～5月5日)</li><li>○様々に色づく紅葉を楽しんでいただく紅葉祭りを開催。(11月23・26・27日)</li><li>◇すべての事業において、地元特産品などの販売やウォーキングイベントなどの主催事業などと組み合わせて多くの来場者を獲得している。</li><li>◇来場者数<ul style="list-style-type: none"><li>・さくら祭りに約55,000名(9日間)</li><li>・みどりの感謝祭に約7,300名(5日間)</li><li>・紅葉祭りに約5,100名(3日間)</li></ul></li><li>●ほかに主催事業を23日間開催。(28日間開催予定であったが、悪天候等により中止)<ul style="list-style-type: none"><li>・かぶと虫教室</li><li>・野山観察会</li><li>・木の枝で花台作り教室</li><li>・苔玉作り教室</li><li>・すずむし教室</li><li>・夏休み木工教室</li><li>・栽草景盆栽教室</li><li>・木の実細工教室</li><li>・落ち葉を集めて焼き芋を焼こう</li><li>・杉玉作り教室</li><li>・しめ縄作り教室</li><li>・門松作り教室</li><li>・燻製作り教室</li><li>・木製チェア作り教室</li><li>・竹細工教室</li><li>・しいたけ作り教室</li></ul></li></ul>
----------	--

## 8 管理運營業務に係る点検・評価

項目	評価	点検結果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	・職員一人一人が1日最低3人の来園者から直接意見や要望を聴取する「1日3人ふれあい運動」及び「全ての来園者にあいさつ運動」の実施により、利用者のニーズの把握に努め、可能な限りイベント等に反映させている。 ・イベントポイント制度等の導入によりリピーターの確保に努めている。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	・計画書に基づいた自主事業が多数開催されている。 ・自主事業の開催により来園者数は多数確保されており、園全体の利用促進にも繋がっている。 ・人気の自主事業の割合を増やしている。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	・園内の施設については、直営により速やかに、かつ細やかな修繕が行われており、少ないコストで多くの箇所の修繕が実施されている。 ・園地管理については、樹木・草花・芝生の手入れが行き届き、来園者からの好評な声が多数寄せられている。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	・修繕等を直営で行い、コスト削減を図っている。 ・電気料金の値上がり等により光熱水費が増えているが、LED電球の使用や緑のカーテンにより空調を使わずにすんだことなどで費用の抑制を図っている。
⑤管理運営体制等 ・管理運營業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	・管理運營業務計画書に基づき、適正に実施されている。 ・「1日3人ふれあい運動」において、来園者から聴取した内容も反映したセルフモニタリングが提出されている。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	・事業計画書に示された労働条件を満たす勤務ができている。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	・職員の多くは地元雇用である。 ・年間を通じて開催されている教室の講師として地元企業に依頼をして、連携協力を図っており、あわせて地元企業のPRをしている。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	S	・年間をとおした自主事業（さくら祭り、みどりの感謝祭、もみじ祭など）の際には、地元団体等と実行委員会を組織し、地元特産品や地元農産物を販売するなど積極的に連携を図っている。 ・地区の学校行事や課外授業などに使用されている。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	・公園内の遊具等は定期的に巡回・点検し、早急に修理を行っている。 ・台風等の災害発生時には、状況確認や危険箇所への立入禁止等の対応を早急に行っている。 ・防災マニュアルの職員への徹底を図っている。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園地管理に利用する燃料等は環境に優しい成分のものを最小限の利用に努め、環境への負荷を抑制している。</li> <li>・園地管理などに使う自動車など、アイドリングストップの徹底をはかっている。</li> <li>・東龍王地区の山野草の繁殖地では歩道周辺の草刈りを一部制限し、来園者を楽しんでいただくと共に、山野草の保護も行っている。</li> </ul>
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係法令に基づき、適正に実施されている。</li> <li>・情報公開規定を整備している。</li> <li>・定期的に職員会議を行い、対応体制を確認している。</li> </ul>
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ニーズの把握により、要望に対する対応が積極的に図られ、サービス向上につながっている。また、直営の園地管理により速やかに低コストで補修、管理が行われている。環境への配慮や安全管理等も整っており、適正な運営管理が行われている。</li> </ul>

- 〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。  
A：概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。  
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。  
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

## 9 その他（今後の課題及び対応等）

### 【課題】

来園者増加

### 【対応】

- ・人気イベントの開催回数の増加や、新たな自主事業を模索する。
- ・インターネット、新聞、パンフレット（4カ国語対応）を活用した県内外への積極的なPRを続ける。
- ・神山森林公園ホームページより、公園情報の充実とイベント情報の発信を行う。